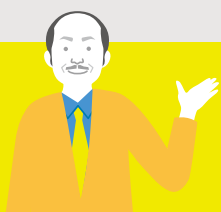


理学療法士の プロフェッショナルリズム 第57回日本理学療法学会inとやま



／ 会員限定！JPTA NEWS 動画配信 ／

本号では、第57回日本理学療法学会inとやま 酒井吉仁大会長よりメッセージ動画をいただきました。QRコードからぜひご覧ください。



https://youtu.be/1t0qE_qg8U



ISSN 0914-2517

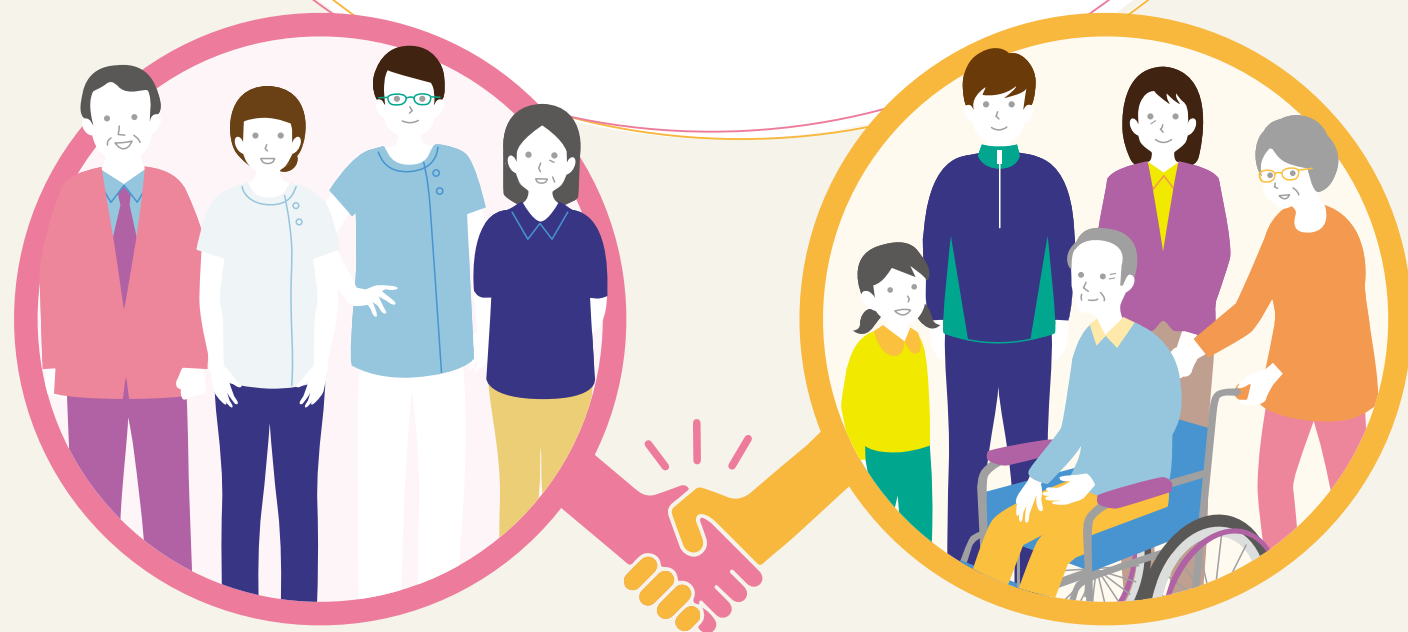
特集
1

理学療法士の プロフェッショナリズム

患者さんや利用者さんがご自身の大切な身体を
任せてくれるのはなぜだろう？

私達理学療法士は、対象となる方の身体に触れ、
運動療法や物理療法を通して、基本動作能力の改善を図っています。

その信頼を作る・維持していくために大切なのは、
私達が「プロフェッショナリズム」という考え方を持つこと。
新年度を迎えた今、理学療法士のプロフェッショナリズムについて、
あらためて考えてみませんか。



「プロフェッショナリズム」ってなんだろう？

プロフェッショナリズム (Professionalism) は、一般的には、「プロ意識」や、「専門技術」「玄人氣質」などと訳されることが多いようです。

動詞である Profess は、「公に宣言する」という意味を持ちますが、語源を遡ってみると“自らの信仰を神に宣言し、聖職者として身を立てることを公言する”意味であったといわれています。時代の変遷を受け、名詞である Profession は、“修練を積んだ職業に従事する人々の団体”という意味で使われるようになったとされています。

Professionalism には専門職集団のあり方と
専門職個人のあり方 2つの視点が含まれます

Professionalism

Profession : 専門家集団

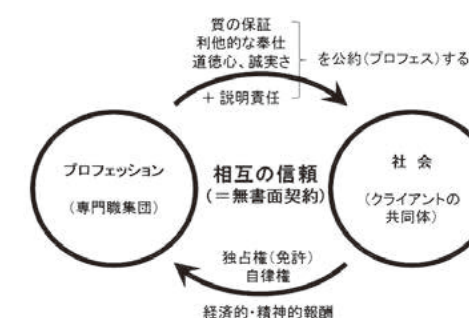
Professional : 個々の専門家

医療におけるプロフェッショナリズムとは？

プロフェッショナリズムは、社会制度や文化的背景などに影響を受け、明確に定義をすることは難しいとされています。

医療専門職におけるプロフェッショナリズムについて、宮田らは、「患者・社会からの信頼形成のためにプロフェッショナリズムが必要である」と説明し、「患者・社会からの信頼を維持して医療を実践するために、医師個人・医療専門職集団全体としてどのように患者・社会と向き合い行動していくか」がプロフェッショナリズムの基本的な考え方であると説明しています¹⁾。

野村は、プロフェッションと社会との間の契約として、「社会から profession に対して、独占権 (免許)、自律権、経済的・精神的報酬が与えられる一方、profession は社会に対し、自分たちが提供するサービスの質の保証、利他的な奉仕、道徳新・誠実さ、説明責任の履行を約束する」互恵関係があると説明しています²⁾。



図：プロフェッションと社会の契約 文献2)より転載

引用・参考文献

- 1) 宮田靖志, プロフェッショナリズム教育の10の視点, 医学教育, 46 (2), 126-132, 2015
- 2) 野村英樹, 専門職の倫理-プロフェッショナリズム その期待と責務- -医師の立場から-, 理学療法学, 42 (8), 730-731, 2015

個人のプロフェッショナリズムが、理学療法士の社会的信頼を保つことに必要不可欠です。
自分のために仲間のために、プロフェッショナリズムを考えてみる大切な気がしてきますね。

次のページでは、「理学療法士のプロフェッショナリズム」について紹介します。 >>>

考えてみよう

理学療法士の

プロフェッショナリズム

プロフェッショナリズムは、時代や社会制度によって変わる要素もあり、定義することは難しいとされています。

一方で、医療職の間違った行動がメディアで取り上げられる場面も散見され、世間の目も厳しくなる昨今。本特集であらためて「理学療法士のプロフェッショナリズム」について考えてみたいと思います。

今回は、このテーマでの講習会開催、論文執筆のご経験のある広島県理学療法士会の甲田宗嗣さんと廣澤隆行さんにお話を伺いました。



Munetsugu Kota

甲田 宗嗣

広島都市学園大学 教授



病院勤務を経て、2015年より現職。公益社団法人 広島県理学療法士会会長として社会活動のリーダーシップを務める。日本精神・心理領域理学療法研究会理事。

Takayuki Hirose

廣澤 隆行

地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立広島市民病院



1999年公立みつぎ総合病院に入職し、2021年より現職。2007年より広島県理学療法士会の活動にも尽力し、2019年より事務局長を務める。

理学療法士をとりまく現状とプロフェッショナリズムについて、どのようにご覧になっていますか？

甲田：春からはじまる登録理学療法士制度は、名称からもRPTの「Resisted」の意味合いが増して、質の最低限保証のための仕組みであると感じています。また、学会法人化によって今後「標準化」に向けた動きも加速していくのではないかと見ています。一方で、広島県理学療法士会の活動をしていると、職域の「開拓」に関する要請が増えてきているように思います。「標準化」と「開拓」が今後大きなキーワードになるのではないのでしょうか。仏心鬼手一仏の心と鬼の手のような、少しベクトルの異なるもののバランスを保ちながら向上していくことが、プロフェッショナリズムであると紹介されていますが、実際には「そんな神様みたいなことできない」という難しさを伴うのが、プロフェッショナリズムに対するリアルな声だと思います。そういう意味で、「標準化」と「開拓」の両立をひとりの理学療法士に求める難しさと性質は似ているのかもしれませんが、今後、さまざまな要因の

バランスを取りながら個人がどのようにプロフェッショナリズムと向き合うのか、それを組織としてどのように支援するのかが課題になると思っています。

廣澤：昨今は、理学療法士の人数や社会の状況が大きく変わり、日々の業務が報酬算定のためのノルマなどに追われやすくなったように感じています。理学療法士にとって、プロフェッショナリズムを意識すること自体が難しい世の中なのかもしれません。私は「理学療法士として奉仕を行う」という意思や想いをもって実践することが、プロフェッショナリズムだと考えています。プロフェッショナリズムを考えることは、一見哲学的で、答えもなく、時代とともに少しずつ変わっていく要素もあります。しかし、現状は大なり小なり、抽象的だったり具体的だったり、理学療法士の間でも個人差があるように思います。

理学療法士のプロフェッショナリズムについて考えるようになったきっかけは、どのようなものだったのでしょうか？

甲田：理学療法士のプロフェッショナリズムを考えるきっかけは、私と廣澤さんの恩師である、前広島県理学療法士会会長の沖田一彦先生に、医学教育の取り組みを教えてもらったことでした。沖田先生は日本医学教育学会で委員を務めておられて、「医学教育学会では、プロフェッショナリズムについて、大学でどのように教えるべきかを含めてカリキュラムを検討している」と教えてもらいました。そこから、プロフェッショナリズムについて理解を深めていく中で、理学療法士にも必要であることを実感し、「理学療法士のプロフェッショナリズム」

について理学療法士講習会を開催するに至りました。講習会には、さまざまな年代の方にご参加いただいたのですが、皆さんプロフェッショナリズムに対して、何かしらの想いを持った方が多かったように思います。職業人として、プロフェッショナリズムを考え続ける責務はもちろんあるのですが、実際には「考えなさい」と無理強いするのは難しく、提供される機会とその人の琴線に触れる時機がマッチすることが大切なのかなと、講習会を開催して感じました。

先生方の考える「理学療法士のプロフェッショナリズム」について教えてください。

甲田：医師や看護師と比較して、理学療法士は法律上の専門性が限局されているように思います。一方で、リハビリテーション、全人間的復権とも解釈されるこの言葉の意味はものすごく広い。リハビリテーションという大きな概念のもとに、細かく規定されている理学療法を患者さんに提供することになります。理学療法士のプロフェッショナリズムを考えるうえで、この部分が良くも悪くも、複雑になってしまう要因だと思います。理学療法士として、理学療法そのものを突きつめる場合もあるでしょうし、もっと大きなところに目を向けて、力を注ぐ方もいますよね。どのような専門性を持たれたとしても、個人の中でバランスを取ることが必要ですが、一生懸命何かをしていると、他の部分はどうしても疎かになりがちです。複雑な要素が絡むプロフェッショナリズムのバランスを、その時々々の立場や状況に応じて取ることは、難しい。難しいということを認めながら、実践していくものなのかなと、私は今、理学療法士のプロフェッショナリズムをそのように捉えています。

廣澤：プロフェッショナリズムでは、その職業が業務を独占して行うことを認めてもらう代わりに、社会契約として、「皆さまのために働き、努力します」という、目には見えない契約があると考えます。ArnoldとSternは、プロフェッショナリズムについて、図のように示しています¹⁾。臨床能力の他に、実は土台がもう2つあって、コミュニケーション技術と倫理的および法的解釈が挙げられてい

ます。その上に4つの柱、卓越性・人間性・説明責任・利他主義があり、その上にプロフェッショナリズムが成り立つということを示しています。理学療法士にとって知識技術が大切であることは言わずもがなだと思います。また、「人のために役に立ちたい」という想いが元々備わっている方が多いように思いますが、「コミュニケーションスキルを研鑽すべき技術として捉えていますか?」「人間性をどのように磨いていますか?」と質問すると、口を閉じてしまう方もいらっしゃるのかもしれませんが。私もよく、この図を参考に話をしています。柱が1本でもなくなると、プロフェッショナリズムは崩れてしまい、土台の1つが抜けてしまったら低い建物になってしまいます。この枠組みでバランスよく建物を建てるのが大切で、自分に何が足りないのかを考える時に、このような概念図がヒントを与えてくれるのかもしれません。

甲田：私達が理学療法士になった頃は、急性期から外来、訪問まで患者さんの病期をまるごと担当して、多くのことを経験していました。働く部門が分かれていると、それに応じて専門特化していく流れは当たり前なのですが、その反面、患者さんや利用者さんの人生を考え、全体の青写真をどのように描くか考える機会がどうしても少なくなりますよね。そのようなことも理学療法士がプロフェッショナリズムを考えるうえで課題になる部分だと思います。



図：プロフェッショナリズムの定義 1)より転載

1) Louise Arnold, David Thomas Stern, 天野 隆弘 監修, (2011): 医療プロフェッショナリズムを測定する一効果的な医学教育をめざして, 慶應義塾大学出版会

実際に臨床や教育現場で「プロフェッショナリズム」について話題になることはあるのでしょうか?

甲田：卒業前の学生にここまでの話をしても、正直ピンとこない部分もありますね。卒後の臨床場面でしたら、症例のカンファレンスが一つのきっかけになると思います。「何の装具を作る?」と検討する時、経済的な面や今後の生活など、さまざまな視点から議論することになりますよね。その時、若い理学療法士と経験のある理学療法士の視点には、やはり違いが出てきます。やりとりを重ねる中で判断材料が増えて、物事を深く見ることと広く見ることのバランスを取ることにつながります。忙しいとは思いますが、ちょっとした時間に1つ2つ考えることが、

プロフェッショナリズムを育む機会になると思います。

廣澤：話をする機会は、職場の雰囲気による部分もあると思いますが、プロフェッショナリズムについて考え続けている人がいるかどうかでも変わってきます。「自分は理学療法士として、人として、どのように成長していったらいいだろう」という疑問を持っていたり、悩みを抱えていたりする人達が周りにいて、気兼ねなく相談をする雰囲気があれば自然と触れる機会もあると思います。

個人の意識も大切ですが、プロフェッショナリズムの意識が芽生えたり、育てたりするためにも、理学療法士のつながりもとても大切だということですね。

甲田：そうですね。患者さんや利用者さんとはもちろんですが、職場であったり、別の組織であったり。仕事やプライベートを含めるとさまざまな形がありますが、プロフェッショナリズムを作り上げていくうえで、「相互作

用」はとても大切なキーワードになると思います。



理学療法士のプロフェッショナリズムを実践するために、私達はどのようなことを心がけていくべきでしょうか。

廣澤：これまで話してきたように、日々プロフェッショナリズムを考え、実践することは簡単ではありません。また、プロフェッショナリズムについて、考えることを無理強いするのは難しいと甲田さんが話されていましたが、私も同感です。私自身も、恩師の沖田先生のように博学になりたいという憧れを持っていますが、そのような想いを持つことがその人自身を少しずつ変えると思っています。後輩にプロフェッショナリズムについて教えるというよりも、自分と向き合うことが大事になるかもしれませんね。若い世代の理学療法士の方は、多様な経験をすることが大事だと思います。臨床では、さまざまな分野を経験していただきたいですし、理学療法士として、人としての悩みや問いも大切にしてほしいですね。「なんでこうなるの?」とか「どうしたらいいのだろう?」と問いを日々見つけて、それにちょっとでも向き合うこと。それが一度に花開くわけではないかもしれませんが、繰り返すことで、少しずつ自分なりのプロフェッショナ

リズムも成長していくものだと思います。

甲田：私自身もそうですが、理学療法士としての職業人生の後半が見えてくると、将来への不安に対する敏感さが、どうしても若い世代よりも劣ってきます。その敏感さやリアリティがあるのはやはり若い世代の方々。今後30年、40年働くことを見据え、「今、自分が何をしたらいいのか?」や「理学療法士として何が必要なのか?」の問いは、上の世代とは違う感覚があると思います。それこそ、世代ならではの能力です。若い世代の立場から、いろいろと発信していただき、学会や都道府県理学療法士会の場で一緒に活躍してもらいたいと思います。プロフェッショナリズムは、普遍的な要素もありますが、時代に即して世代を問わず「相互作用」を起こして考え続けることが大切です。



理学療法士として働く中で、あるいはひとりの人としても、悩みや疑問が尽きることはなかなかありませんが、日々の悩みや疑問に向き合うことこそが、プロフェッショナリズムを実践するための大事な要素であると学ばせていただきました。また、世代や立場を超えた「相互作用」が、プロフェッショナリズムを育てていくうえで大切になるというお話も印象的でした。上の世代からの一方通行ではなく、若い世代の方からの発信も、時代に即した理学療法士のプロフェッショナリズムを形作るための大事な要素なのですね。

取材にご協力をいただき、ありがとうございました。

第57回

特集
2

富山県よりオンライン配信!!

日本理学療法 学術研修大会 in とやま

臨床技能の伝承 ～プロフェッショナリズムの追求～

2022年7月9日(土)～10日(日)

開催方式: オンライン

参加費: 会員6,000円 非会員12,000円

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大の影響を鑑み、
「第57回日本理学療法学術研修大会 in とやま」はオンライン開催となりました。
参加登録や大会の詳細については、随時更新される大会ホームページをご確認ください。

<https://convention.japanpt.or.jp/nichiken/57/index.html>



\\ 参加前に確認を! //

日本理学療法学術研修大会 3つの要件

4月からスタートした生涯学習制度では、
日本理学療法学術研修大会への参加を登録理学療法士更新のポイント、
認定理学療法士申請要件、認定・専門理学療法士更新点数としています。

POINT1

登録理学療法士の
更新ポイントを取得したい!

**カリキュラムコードが
1つ設定されます!**

登録理学療法士更新ポイント取得方法として、「カリキュラムコードに準じた学習による取得」があります。大会テーマに沿ったカリキュラムコードとして「1: プロフェッショナリズム」が設定され、9ポイント取得することができます。

POINT2

認定理学療法士を
めざしたい!

**日研は認定理学療法士
新規申請要件です!**

臨床実践におけるスペシャリストである「認定理学療法士」の新規申請にあたり、日本理学療法学術研修大会への参加が必須要件になりました。認定理学療法士をめざす会員の皆さまは、ぜひ本大会への参加をご検討ください。

POINT3

認定・専門理学療法士の
更新点数を取得したい!

**認定・専門理学療法士の
更新点数としても選択できます!**

認定・専門理学療法士取得済の方は、登録理学療法士も取得済のため、大会参加によって「登録理学療法士更新ポイント」または「認定・専門理学療法士更新点数」のどちらを取得するのか、申込時に選択します。各更新要件を事前に十分確認して選択しましょう。

日本理学療法学術研修大会 in とやま

開催に向けて

第57回日本理学療法学術研修大会 in とやま 酒井大会長と

準備委員会の皆さまからコメントをいただきました。

リハビリテーション専門職としてわが国に理学療法士が誕生して50余年が経過し、これまで理学療法士は、何よりも患者さんの役に立ちたいと臨床・教育・研究活動に励んで参りました。今後さらに理学療法士がプロフェッションとして社会からの期待と責務に応えるためには、理学療法士のプロフェッショナルリズムを再確認し、追求していく必要があります。本研修会は、各専門分野のプロフェッショナルである講師からの臨床技能の伝承を通じて、講師と参加者がともにプロフェッショナルリズムを確認し、追求していく機会となります。2日間の短期間ではありますが、皆さまにとって生涯継続していく学修の動機付けとなる研修を提供したいと考えております。ご参加をお待ちしております。



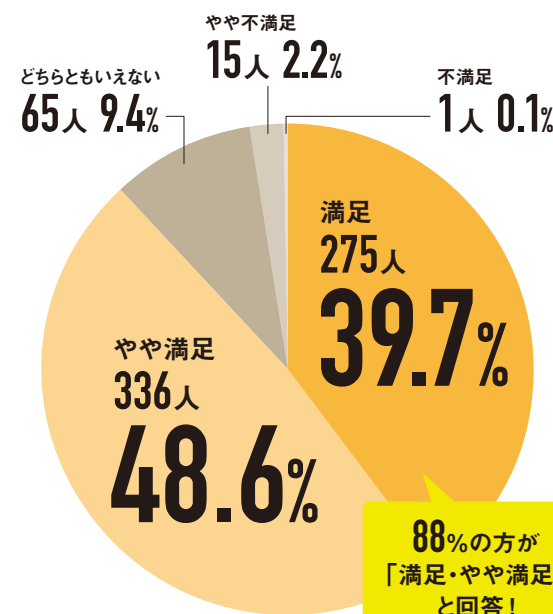
第57回日本理学療法学術研修大会
大会長 酒井吉仁

日研とやまはコロナ禍の中、約30名の準備委員にてリモート会議を重ねながら準備を進めています。残念ながら、対面からオンラインへと開催方法が変更となりましたが、有意義なオンライン研修会となるように、みんなでアイデアを出し合いながら頑張っています。「臨床技能の伝承」をテーマに掲げ、一方の講義のみではなく、講師と参加者との双方向でのディスカッションなども計画しています。会員の皆さまにはご来県いただかず、大変残念ではありますが、当日は画面を通して、皆さまとお会いできることを楽しみにしています。ぜひ日研とやま大会へご参加ください!



第57回日本理学療法学術研修大会
準備委員会

アンケートで振り返る 日研はじめてのオンライン開催



Q. 日研おおいについて、
総合的にどのくらい満足していますか?

参加した皆さまの声

交通費や
移動時間の負担なく、
学ぶことができました!

参加費以上の、盛りだくさんな
内容を聴けました!

集合開催と同じような感覚で
受けることができて良かったです!

大会延期後、2021年にはじめてのオンライン開催となった日研おおい。開催後アンケートから、そのメリットを実感した方が多い結果が読み取れました。COVID-19により、第57回大会もオンライン開催が決定しましたが、充実した大会となるよう準備が進められています。

次のページでは、第57回大会のプログラムと見どころを紹介します。

こたわり 見どころ & 解説！

第57回日本理学療法学術研修大会 in とやま

第57回日本理学療法学術研修大会 in とやまでは、「プロフェッショナルとしての臨床技能の追求」を基本コンセプトに掲げ、理学療法士が生涯継続していく学修の動機付けとなる気付きにつながる機会の提供を目指して、現在準備が進められています。



「学修」の言葉にこめる想い

理学療法士は、患者さん・地域社会から医療専門職者・医療専門職集団として信頼関係を構築する必要があります。今回の企画では、ただ学ぶだけではなく「学び、身につける」ことを重視して、『学修』の機会を提供できればと考えています。



伝承部屋とは？

「伝承」とは、風習や言い伝えなどを受け継いで後世に伝えることです。各分野でご活躍されている先生方から、知識や技術を少しでも吸収できるよう「伝承部屋」を設けました。講演で理解できなかったことや日々の疑問などを本大会で解決していきましょう！



Time Schedule

基本プログラム

豪華講師陣による11の講演を企画！
それぞれの時間帯から1つ選択して、
受講することができます。

若手会員の方対象！
結果の出せる理学療法のコツを学ぼう！
病期別での基本水準の理学療法技能の学修

専門性を追求！
社会ニーズに応える
高質水準の専門理学療法技能の学修

サブプログラム

自由参加プログラムとして、
①講演後の意見交換会
②事前配信を企画！

事前配信プログラム（予定）

- 臨床技能の伝承
～プロフェッショナリズムの追求～
- 理学療法診療ガイドラインの活用
～患者と医療者の共同意思決定のために～
- 理学療法士と医療福祉・保健政策

7月9日(土)

12:30	13:30～16:30	16:30～17:30
開会式	1 腰痛に対する理学療法を学ぶ 桐蔭横浜大学 成田崇矢先生	伝承部屋で意見交換会
	2 生活期・終末期理学療法を学ぶ 株式会社ヌーベルバーグ 介護ショップ蓮 正木健一先生	
	3 臨床研究を学ぶ 金沢大学 久保田雅史先生 新潟医療福祉大学 椿淳裕先生 鹿児島大学 牧迫飛雄馬先生	
	4 理学療法管理を学ぶ 愛知県看護協会 林里都子先生	



パンフレット通りの腰痛予防で本当にいいの？
理学療法士による腰痛予防を考えよう！

7月10日(日)

9:00～12:00	12:00～13:00	14:00～17:30	17:30～18:30	18:30
5 スポーツ障害に対する 理学療法を学ぶ 株式会社 GLAB 蒲田和芳先生	伝承部屋で意見交換会	9 脳卒中に対する 理学療法を学ぶ 京都大学大学院医科学研究科 大畑光司先生	伝承部屋で意見交換会	閉会式
6 予防理学療法を学ぶ 東京都健康長寿医療センター 大淵修一先生 馬場病院 小牧隼人先生 東京都健康長寿医療センター研究所 江尻愛美先生		10 運動器疾患に対する 理学療法を学ぶ なか整形外科 京都西院リハビリテーション クリニック 小野志操先生		
7 急性期・ 回復期理学療法を学ぶ 静岡済生会総合病院 藤吉健史先生 東京工科大学 忽那俊樹先生 千葉県立保健医療大学 安部能成先生		11 内部障害疾患に対する 理学療法を学ぶ 順天堂大学 高橋哲也先生 順天堂大学 森沢知之先生 順天堂大学 齊藤正和先生		
8 理学療法教育を学ぶ 東京女子医科大八千代医療センター 薄直宏先生 国際医療福祉大学 堀本ゆかり先生 兵庫医療大学 日高正巳先生				

事前申込

4月20日受付開始！

申込は日研とやまホームページで受け付けています。

<https://convention-japanpt.or.jp/nichiken/57/57registration.html>

※事前申込を行ったあとは、事前配信プログラムの閲覧が可能となります。





患者さんの身体の中ではどのようなことが起こっているの？
病棟で他職種とどのように情報交換をしたらよいか考えよう！



病期ごとの症例動画から、
脳卒中に対する理学療法を考えよう！

※掲載内容は、3月末日時点のものであり、内容の変更
が入る可能性があります。詳細については、大会ホーム
ページをご確認ください。

<https://convention.japanpt.or.jp/nichiken/57/index.html>



Top Message

会長 齊藤 秀之



新年度にあたり

臨床現場で責任者をしていて、毎年4月になると、新入職員を迎え入れ、その輝いた眼を見て、自ら初心に帰ることができると同時に、心が洗われ、新たな構成員と部門や組織をさらに前進していこうと闘志を湧かせていたことを思い出します。会員諸氏におかれましても、国内外の課題がある中で、さまざまな4月をお迎えのことと拝察します。ぜひとも、会員の皆さまにとってよりよい年度はじめであることを祈念します。

そして、本会としてもいよいよ新生涯学習制度が開始となります。長年議論してきた会員、職場、都道府県理学療法士（協）会と本会の役割がこの制度運用で徐々に可視化されていくことを期待しています。勉強のための勉強ではなく、目の前の実践を当たり前に行うことがプロフェッションです。当たり前の理学療法を当たり前に行う。これは、まずは国民が理学療法士に望むことだと思います。そのために多くの課題を解消し、医師の卒後研修や医師会の生涯教育制度を模倣した制度が登録理学療法士制度です。今まで以上に現場や地域に根差した生涯にわたる研鑽が可能となり、社会の流れに沿えると思います。すべての会員が登録理学療法士を取得し、更新していくことを目標にしていけるように、新しい時代を皆さまとともに創り出したいと思います。

最近、数名の熟練会員とお話ししました。養成教育施設や臨床実習施設において各種ハラスメントが後を絶たないようです。理学療法士の養成教育や卒後研修において、理学療法士を目指す方々や資格取得後プロフェッションを目指す方々が、そうした、品位・品格あるいは教育・指導技能に欠けたと思われる利己的パワーに押しつぶされる不幸は、あってはいけません。プロフェッションは自分と異なる意見を受け止め、認めることができるはずで、自分の主張だけ述べるのはパフォーマンスでしょうし、学問・科学の世界でも通用しません。無論、他者が悪いと言うわけにはいかない。人間を対象とする仕事をするうえで、社会人としての最低限のルールを肝に銘じ、利己より利他、他者承認より自己承認の覚悟を、年度はじめである4月にいただき、よいスタートを切ってほしいと思います。

理学療法士をとりまく



Vol. 13

途切れない評価指標を目指して 「理学療法標準評価」

「転院してきた患者さんの過去の状態が把握にくい」
—そのような経験、ありませんか？大切な情報が引き継がれないことは、患者さんや利用者さんにとっても不利益につながりかねません。

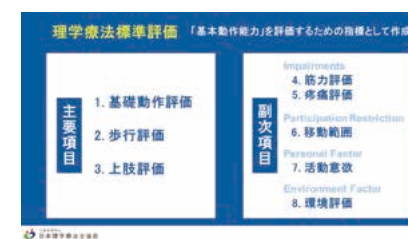
本会では、報酬体系や疾患、病期などによる情報の切れ目が発生しないよう、基本動作能力を中心とした「理学療法標準評価」の開発を進めてきました。本評価は、基礎動作評価、歩行評価、上肢評価からなる主要項目と筋力評価、疼痛評価、移動範囲、活動意欲、環境評価からなる副次項目で構成されており、スクリーニング目的で使用するのことができる「リハビリテーション必要度評価」が含まれます。

現在、多く使用されている評価票は「できるADL」と「しているADL」のどちらかを評価する、もしくは分けて採点するものが大半ですが、本評価では「できるADL」は今後「しているADL」に変化する可能性がある」と捉え、同じ評価軸とし

て採点することに大きな特徴があります。

信頼性や妥当性の検証、検証結果を受けての改定が行われ、今年度は理学療法標準評価の普及・啓発を進めていく予定です。令和6年度に控える診療報酬・介護報酬同時改定を見据えデータを蓄積し、今後政策提言に資する貴重な指標となることを目指していきます。

臨床におけるスタンダードな理学療法評価票となるべく、普及啓発に向けたさまざまなコンテンツを用意していきますので、発信する情報をご確認いただければと思います。



<https://www.japanpt.or.jp/pt/function/standardevaluation/>

理学療法士議員 小川かつみ 国会を走る！

本コーナーでは参議院議員として活躍する理学療法士 小川かつみ氏が、政治の世界で進められている社会保障施策への取り組みについて説明します。

内閣が国会に提出する法案は、その条件として与党の審査を経て承認を受けることとされています。厚生労働省所管の法案は、まず与党である自民党の厚生労働部会に提出され、さまざまな角度から審議が行われます。仮に審査をパスできなければ、政府も国会に法案を提出することができません。そのような権能を有する部会に「リハビリテーションに関

与党「リハビリテーションに関する小委員会」スタート

する小委員会(リハ小委員会)」が設置されました。私の議員生活5年半にして、ようやく理学療法士を政策議論の俎上に載せることができたのです。これは極めて大きな出来事です。これを機会に協会や日本理学療法士連盟の協力を得ながら、私達の閉塞感や不安を少しでも払拭したいとの強い思いを以て、これに全力を注ぎたいと考えています。

2月10日に第1回の委員会を開催し、総論的に私達の諸課題を顕在化させましたが、出席いただいた多くの議員から熱心な応援をいただきました。3月2日に

は第2回目、医療分野における課題と展望を急性期、回復期、慢性期に分けてそれぞれ田島教授(和歌山県立大学)、水間理事長(輝生会)、武久会長(日本慢性期医療協会)からお話をいただきました。今後、さらに介護領域、予防領域、教育制度・資格法と5回を終えて、4月末には第6回目を開催、中間取りまとめをしたいと考えています。6月には政府の「骨太の方針」が示されます。何とかこれに載せてもらえるよう、とても困難な目標ではありますが、挑戦する価値はあると思っています。

1951年、福岡県北九州市生まれ。1973年、九州リハビリテーション大学卒業。熊本県理学療法士会会長、日本理学療法士協会副会長などを歴任。2016年、参議院議員通常選挙にて初当選。2020年、参議院厚生労働委員会委員長。現在、自民党厚生労働部会副会長、日本理学療法士協会理事などを務める。

小川かつみ公式サイト(<https://ogawa-katsumi.com/>)





多田 羅 昭二 (たたら しょうじ)

丸亀市高齢者支援課
地域包括支援センター

Shoji Tatara
1977年九州リハビリテーション
大学卒業。同年労働福祉事業団
(現労働者健康安全機構) 香川労
災病院入職。労働災害にかかる傷
害・疾病を中心に入院から家庭復
帰まで一貫したりハビリテーショ
ン、後に急性期リハビリテーショ
ンに従事し、大腿骨頸部骨折・脳
卒中地域連携バス作成にも携わる。
2011年4月東日本大震災災害派遣
に参加。2015年に定年退職を迎え、
継続雇用にて勤務を続けた後、
2016年より現職。

本コーナー「生涯現役」では、生涯現役で活躍
する先達から会員の皆さまへメッセージを募集
しております。
お問合せ先: JPTA NEWS担当 news@japanpt.or.jp

生涯現役

Aging- 市民とともに歩む

私の仕事場は香川県丸亀市にある。丸亀市は木造天守閣の残る
歴史ある街である。北は瀬戸内海に面し、平野部には讃岐富士が
ポツリとそびえ、周りにはため池と田畑ののどかな田園風景が
広がる。人口約11万人、高齢化が急速に進みつつある。私は定
年まで公的な病院で急性期リハビリを行ってきたが、現在は丸亀
市の地域包括支援センターに在籍している。当センターは社会福
祉士、保健師、主任ケアマネジャー、理学療法士などが連携を
図って、高齢者の種々の相談にあたっている。

理学療法士は、介護予防のための体操を年間60回程度指導して
いる。また、コミュニティセンターでも同様の事業を委託・開催
し、丸亀独自の体操「しゃんと体操」をDVD化して、希望者に配
布・自主活用していただいている。これらの取り組みを利用され
ている方は限定的であり、独居や閉じこもりの高齢者に身近な場

所で、もっと頻回に利用していただくことを目標にして、先進の
高知市や津山市を手本としつつ新しい試みにも取り組んでいる。

簡単な動作で覚えやすく継続しやすい「元気いっぱい! 長生き
体操」を作成し、身近な「集いの場」に週に一回集まり、実施し
ていただいている。私達チームは定期的に訪問して、介護予防の
情報提供を行っているが、逆に地域の貴重な情報をいただくこと
もしばしばである。

私自身も高齢者となり、老化の不安や悩み事がわが身となった。
できることと言えば、顔を合わせ、短い会話を交わすだけではあ
るが、少しでも気持ちを和らげ、解決の糸口になればと思ってい
る。「市民の皆さんが、住み慣れた地域でいきいきと楽しく暮ら
し続ける」そんな日常を達成できることを願って、讃岐平野を駆
け回る日々である。

本年度より新生涯学習制度が開始となりました!

新たに誕生した「登録理学療法士」は5年毎の更新制となり、更新ポイント取得
要件の1つとして「会報誌JPTA NEWSを利用した問題解答」があります。
次号(No.337)から、問題解答がはじまりますので、登録理学療法士の方は、更
新ポイント取得に向けて、ぜひチャレンジしてみてください。

※問題解答は、登録理学療法士取得者が対象となります。
解答にあたっては、必ず登録理学療法士更新制度に関する説明資料を十分にご確認ください。

▶ <https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/>
「登録理学療法士更新ポイント 問題解答」に関するお問い合わせは、
本会ホームページお問い合わせフォームからお願いいたします。



登録理学療法士更新制度に関する詳細は、
本会ホームページをご確認ください。

INFORMATION

異動・休会・復会・退会等の手続きについて

ご登録内容に変更が生じた場合は、日本理学療法士協会(以下、本会)ホームページ内の【マイページ】へログインし、Web 申請にて各種手続きをお願いいたします。
トラブル防止のため、電話・メール・FAX による各種申請は受け付けておりません。

〈参考URL〉<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/>

* Web 環境がない場合は、本会事務局(TEL: 03-6804-1421)へお問い合わせください。



会員数 **133,133名** 2022年3月31日現在
* 休会者含む

異 動

所属施設の変更・自宅住所の変更等により会員登録に変更が生じた場合は、
マイページの【登録内容の変更・確認】→【本人情報の確認・更新】より、次の通りお手続きください。

所属施設の変更: 【主たる所属先変更】より、異動申請手続きを行ってください。

自宅住所の変更: 所属施設の登録がある方は【自宅情報変更】より、お手続きください。お手続き後、即時変更可能です。
所属施設の登録がない方は【自宅情報変更・所属先追加】より、異動申請手続きを行ってください。

(注)・(就労(学)状況)の入力欄は、非常勤勤務の方も、ご所属施設がある場合には【働いている】をご選択ください。
・海外会員に登録される場合は、会費の支払い方法について確認させていただきますので事前に本会事務局へご連絡ください。
なお、帰国後は必ず都道府県理学療法士会に所属しなければなりません。
・施設移転等による施設情報の変更は、施設会員代表者、または施設会員代表者代理に割り当てられた方のみ変更が可能です。
施設会員代表者様は【マイページ】へログインしていただき、【登録内容の変更・確認】→【施設情報管理】よりお手続きください。

休 会 ・ 退 会

マイページの【登録内容の変更・確認】→【本人情報の確認・更新】→【休会申請する】または【退会申請する】よりお手続きください。
申請受理後、下記の権利が停止となります。

休会中ならびに退会後は下記の権利が停止となります。

- 各種研修会・学会等への会員価格での参加
(非会員価格での参加となり、会員対象の研修会への参加はできません)
- 各種学会への無料での演題登録
- 理療法士賠償責任保険への加入(全員加入・任意加入)
- 会報誌「JPTA NEWS」の発送
- 役員候補者選挙および代議員選挙の選挙権、被選挙権
- 福利厚生サービス「クラブオフ」の利用 など

(注)・休会期間は4月1日から翌年 3月31日までです。年度途中の休会も満了日は3月31日となります。
ただし、1月1日～3月31日の間に申請が行われた場合は、ご申請日または4月1日から翌年3月31日を休会期間とします。
・休会期間満了時までに必ず復会/休会継続/退会いずれかの手続きをお願いします。休会継続をご希望の場合は、休会継続申請受付期間(1月1日～3月31日)にご申請ください。
・休会期間満了時までに手続きがない場合は、規定により退会となりますのでご注意ください。
退会後、生涯学習履修履歴は無効となり、取得した資格も失効します。再入会時には再履修・再取得が必要です。
・休会中に所属施設が変更、もしくは自宅住所の変更となった場合は、上記、【異動】の手順に沿ってお手続きください。
・年度途中の申請の場合、納入済の当年度年会費はご返金いたしかねます。

(注)・退会日は退会申請を行った日となります。退会後、生涯学習履修履歴は無効となり、取得した資格も失効します。再入会時には再履修・再取得が必要です。
・納入済の当年度年会費はご返金いたしかねます。
・退会される場合は、会員証を速やかに破棄してください。

復 会

休会中の会員が復会を希望する場合は、マイページの【登録内容の変更・確認】→【本人情報の確認・更新】→【復会申請する】よりお手続きください。

会 費 割 引(育児休業・シニア・海外)

マイページの【お支払い管理】→【会費割引申請】よりお手続きください。[2023年度年会費が割引適用](#)となります。

マイページのログインID・パスワードの再発行について

マイページへログインできない場合は、マイページログイン画面下の「ログインできない方はこちら」より、ID・パスワードの再発行申請をお願いします。
〈参考URL〉<https://www.japanpt.or.jp/inquiry/faq/mypage/system20002.html>

(注) お電話によるID・PWのご照会はありません。



マイページリニューアルのお知らせ

2022年4月19日にマイページをリニューアルいたしました。会員の皆さまにとってより
使いやすくなるようデザインや構成を刷新
し、生涯学習制度に対応した情報確認画面
や各種申請機能になっております。ぜひ、リ
ニューアル後のマイページをご確認ください。

※マイページのリニューアルに関する詳細は
下記よりご確認ください。

〈参考URL〉
<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/newsystem/>



クラブオフについて

本会では、福利厚生サービスとして、会員優待料金でさまざまなサービ
スが利用可能な「日本理学療法士協会 クラブオフ」をご用意しています。

＼人気No.1クーポン／
【対象店舗限定】コメダ珈琲店

通常サイズの価格で
たっぷりサイズへの
サイズアップ **無料**



◎その他サービスの詳細はWebで検索

理学療法士協会 クラブオフ 検索



HOT TOPICS

オリパラ記録集を 発行しました！

オリ・パラ大会に向け、本会が取り組んだ準備過程とその内容をまとめています。レガシーとして、本冊子が今後の国際大会等の支援で活用され、スポーツ理学療法の発展に寄与することを目的としています。

会員限定コンテンツには、理学療法士の実際の活動に関する声として、多くの会員の方からのご寄稿も掲載しています。ぜひご覧ください。

▼記録集



<https://www.japanpt.or.jp/activity/books/>

▼理学療法士の活動

会員限定コンテンツ

協会運営・資料一覧

資料一覧



<https://mypage.japanpt.or.jp/mypage/login>

発達障がい児に関する理学療法士 向けパンフレットを掲載しました！

発達障がい児に対する理学療法の意義について、基礎知識、実践例を分かりやすく説明しています。発達障がいについてこれまで学んだことがない方でも、今後の学びのきっかけになるパンフレットです。ぜひ、一度ご覧ください。



会員限定コンテンツ

協会運営・資料一覧

資料一覧

<https://mypage.japanpt.or.jp/mypage/login>



マイページがリニューアル！ & 会員専用 スマホアプリも5月中旬スタート！

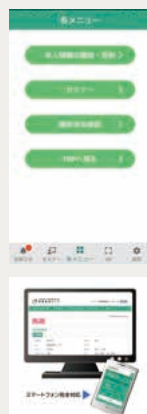
2022年4月19日にマイページをリニューアルいたしました。

デザインや構成を刷新し、スマートフォンでの操作性も向上しております。

楽天カード以外のクレジットカード登録や会員専用アプリ(5月中旬公開予定)の導入等、新しい要素もございますので、ぜひ下記ページをご覧ください。

※マイページへのアクセスは、本ページ下部をご確認ください。

<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/newsystem/>



2020 職場における腰痛予防宣言！ ご参加ありがとうございました

3月25日をもって「2020 職場における腰痛予防宣言！」を終了しました。所属先で腰痛予防に取り組んでいただいた施設数は、金メダル60施設、銀メダル130施設となり、腰痛予防講習会へ参加いただいた他職種の人数は、延べ5,472名となりました。

期間中、ご参加いただいた会員の皆さまに感謝申し上げます。

参加施設の一覧については、本会HPに掲載しています。



<https://www.japanpt.or.jp/pt/function/healthpromotion/#a5>



マイページ(会員限定コンテンツ)
へのアクセスはこちらから。



公益社団法人

日本理学療法士協会

Japanese Physical Therapy Association

公益社団法人 日本理学療法士協会会報誌 号数：No.336
発行日：2022年4月20日

発行人：公益社団法人 日本理学療法士協会
〒106-0032 東京都港区六本木七丁目11番10号
TEL：03-5843-1747 FAX：03-5843-1748

HPへアクセス

代表：斉藤秀之
編集：日本理学療法士協会 事務局
本会HP：<https://www.japanpt.or.jp>

